

平成25年3月	<u>日本産科婦人科学会が「母体血を用いた新しい出生前遺伝学的検査」指針を決定・公表</u> <u>日本医学会、日本産科婦人科学会、日本人類遺伝学会、日本医師会、日本産婦人科医会</u> <u>が、「母体血を用いた新しい出生前遺伝学的検査」についての共同声明を発表</u>
平成25年4月	<u>臨床研究としてNIPT開始</u>
平成31年3月	<u>日本産科婦人科学会において、指針の施設要件を緩和し、一般の産科医療機関（分娩取扱施設）においてもNIPTを実施可能とする新指針案が打ち出される</u>
令和元年6月	<u>厚生労働大臣より、同年秋頃に検討の場を設け、NIPT検査について必要な議論をしていく旨表明</u> <u>日本産科婦人科学会において、新指針案については運用開始を保留すると発表</u>
令和元年10月～令和2年7月	<u>母体血を用いた出生前遺伝学的検査（NIPT）の調査等に関するワーキンググループ</u>
令和2年10月～令和3年3月	<u>NIPT等の出生前検査に関する専門委員会</u>
令和3年5月	<u>厚生科学審議会科学技術部会で、NIPT等の出生前検査に関する専門委員会報告書が承認</u>
令和3年6月	<u>日本医学会総会で、「出生前検査認証制度等運営委員会」の日本医学会への設置が承認</u>
令和3年11月	<u>第1回出生前検査認証制度等運営委員会開催</u>

※黄色部が、国における議論